



日	月	火	水	木	金	土
〔山内公民館・六友館利用予定団体〕 おむすびの会、ふらんしーず、山内GG、 山内切り絵の会、いきいき百歳体操、山内 学区区長会、山内自治振興会			4月のミハルカス情報 ・23日 宵桜ミハルカス(15時～20時) ・24日 ミハルカス音楽ライブ(10時～15時) 両日ともどなたでも参加できますよ！入場無料。		1 廃プラ回収日	2 ・ふらんしーず 13:30～六友館
3 ・山内学区区長会 19:15～六友館 (引き継ぎ会)  日曜ミハルカス	4 燃えるゴミ	5 燃えないゴミ回収日 ・いきいき百歳体操 14:00～15:00 ・自治振興会会計監査 19:00～	6 移動販売の日  水曜のんびりカフェ	7 燃えるゴミ ペットボトル 発泡スチロール ライター } 回収日	8 廃プラ回収日	9 ・ふらんしーず 13:30～六友館
10	11 燃えるゴミ 山内GG春季大会 宮の下 8:30 受付 自治振興会理事会 20:00～	12 ・おむすびの会高齢 者宅配弁当の日 ・いきいき百歳体操 14:00～15:00	13 移動販売の日  水曜のんびりカフェ	14 燃えるゴミ ・山内切り絵の会 13:00～15:00	15 廃プラ回収日	16 ・グリーンキッチン 8:30～12:00 公民館調理室
17  日曜ミハルカス	18 燃えるゴミ	19 ・いきいき百歳体操 14:00～15:00	20 移動販売の日  水曜のんびりカフェ	21 燃えるゴミ	22 廃プラ回収日	23 ・ふらんしーず 13:30～六友館
24	25 燃えるゴミ	26 ・いきいき百歳体操 14:00～15:00	27 移動販売の日  水曜のんびりカフェ	28 燃えるゴミ	29 廃プラ回収日	30

行政情報 第2話

やまびこ3月号の行政情報をご覧いただけましたでしょうか。

人口減少や高齢化が目に見えて進む中で、山内学区の将来はどうなっていくのでしょうか？ どのようになれば、みんなが住みやすく、安心して暮らせる山内であり続けられるのでしょうか。住民が減り、空き家や不耕作地等の悪玉菌が集落を蝕(むしば)んで来ていませんか。

先月号では、「将来を見据え、学区単位の運営に変えていかなければならない時期がきているのではないのでしょうか？」「組織体制の見直しだけで、新たな自治振興会の会長さんは、うまく運営できるのでしょうか・・・」と問いかけて終わりました。

一人ひとりが会長さんの立場になって、安心して暮らせる山内であり続けられるように、どうすればいいのか考えてみてください。

まず、「何をすればいいの？ どのような山内なら安心できるの？ 何を目標に取り組めばいいの？ 学区民はどう考えているの？等々」新たな自治振興会の会長さんは、たぶん色々悩み、戸惑ってしまわれるのではないのでしょうか。

しかし、目指すべき方向性や山内の将来のあるべき姿が、先に具体的に見えていれば、誰が会長に就任されても、その目標に向かって新組織体制の中で学区民が望まれるような運営をスムーズに進めることができると考えられます。

こうしたことから、市では、住みよい山内地域の将来を見据え、厳しい現実を共有しながら地域課題や困りごとを抽出し、日々の暮らしに必要な機能やサービス等を議論するなど、山内学区将来展望計画(グランドデザイン)の検討を令和4年度から学区民の皆さんとともに進めさせていただきたいと考えられています。

学区民皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

山内俳句会の皆様より  
卯月の句

・雪の日は  
部屋に広がる  
児の玩具

・春を待つ  
我のくらしは  
同じ日々

・装へば  
祖母に似て来し  
冬帽子

・暗き代も  
日に日に春の  
明りなす

・うら庭に  
残る根雪や  
庭の石

・不器用に  
生きて今年も  
梅を干す



※ 約27年間続けてこられた「山内俳句会(山内俳句教室)」当初は、7~8名で、会をされていたとお聞きしました。年輪の数が増し、昨年の秋頃からは2名で活動をされていました。残念ですが、令和3年度3月31日をもちまして活動を終了されることになりました。4月号をもって俳句の連載も最終回となります。長きに渡りご活躍されたことに敬意を表します。お疲れさまでした。😊

おむすびの会よりお知らせ

前月のちらし寿司のお味はいかがでしたか？  
今月も～高齢者宅配弁当～を以下の通り販売します。

期 日：4月12日(火曜日)  
内 容：そぼろ三色ごはん  
さわらのホイル焼き  
鮎河菜のからし和え  
ポテトサラダ、桜ゼリー



数 量：45 食限定  
金 額：ワンコイン 500円  
申込〆切日：4月 7日(木)

申込先：山内地域市民センター 【68-0001】まで



山内自治振興会よりお知らせ

☆振興会では、地域内で積極的に活動されているグループ。又、これから自主学習団体登録してパンやお菓子づくり等を始めようと思われているグループの皆さんを対象に左記の日程で醗酵機と捏ね機(ミキサー)を開封し始動します。

日 時 四月十六日(土) 八時三十分～十二時  
場 所 山内公民館(調理室)  
費 用 無料

※翌日(十七日)以降、醗酵機や捏ね機(ミキサー)を使用される場合は、必ず、山内地域市民センターで申請書の記入をお願い致します。  
使用場所は、公民館調理室又は、六友館特産品加工室に限ります。  
お問合せ先 (六八)〇〇〇一  
山内地域市民センター

地域市民センター和美ちゃんの聞いて欲しいねん！拡大版。

次年度活動の更なる充実に向け一人ひとりの見聞を高めていただけるように3/13(日)に、おむすびの会、たんぼぼの会、山女原くるみちゃんの3団体を対象として、【平成26年8月の丹波市豪雨災害】からの復興で生まれた女性グループ“ぽんぽ好(ポンポコ)”さんの災害時の実体験や復興から始まる活動などについての研修。もちろん、マスク着用、消毒は当たり前。コロナ対策として参加者が外部の方とできるだけ接触しないようにトイレ休憩を除き、目的地までノンストップの移動でしたよ。

到着後、災害時には大学生として復興のボランティア。その後、丹波市の職員となりずっとぽんぽ好さんの活動を熱意を持ち支援されている堂本さんに、豪雨災害からの復旧・復興についてお話をおききました。

全く災害が起こるなんて思ってもいなかった。多いところで1時間に100ミリ、3時間で200ミリの豪雨。大量の土砂と木が流出し河川を埋めた。支流のほとんどが氾濫し集落や農地が浸水。とりあえず、建物の高い所や家屋の2階へと安全な場所へ避難。辺りが明るくなるのを待っていた。



【避難行動のきっかけになったのは】

- ・雨の降り方が異常であったので立ち退いた。
- ・山なりがした。土の臭いがした。出水が止まった。
- ・家族や親族の呼びかけにより。
- ・隣り近所の呼びかけにより、一緒に立ち退いた。
- ・自治会長や自治会役員の呼びかけにより。
- ・消防団や地域の駐在所の呼びかけにより。
- ・市の「避難勧告」により。

自助

共助

公助

個人情報や何処まで～という時代ですが、普段からのご近所付き合いの大切さ！本気の想定での訓練や避難経路の把握。大丈夫が大丈夫でないという事。災害は待ってくれない

お昼は、「調味料以外は、ほぼ地元産の食材。自分たちの身体に良いもの」にこだわっておられる手づくりランチ。そして、研修会会場でもある“ひなたぼっこカフェ”のマスターのこだわりの生豆から焙煎したコーヒー、たっぷり入ってなんと300円。安すぎでしょ😊

猟師さんが捕ったイノシシ肉のハンバーグもありボリューム感がすごかった。午後の意見交換会では(株)暮人 代表取締役 杉本淳さん(全国各地で、地域と地域の橋渡しの活動もされているコンサルタントの方)も参加いただき「地域のために何かできないか？」女性が元気な地域は地域も元気！全員が賛同してくれなくても、たとえ少人数でも同じ思いを持つ仲間と楽しく活動し、ご縁に感謝し横の繋がりを大切にすることを学びました。



参加者の声から

- ・あちこちの山に大きい砂防ダムがしてあり災害の恐ろしさを実感した。
- ・時間にゆとりのある男性陣が生き甲斐の一つとして荒廃地で活動し地産地消の手助けをしてくれないかな？
- ・週一の弁当づくりだけでなく交流事業など精力的に取り組んでおられる。嫁いでこられた女性の地域を元気にしたい強い思いに感動。
- ・大きな災害もなく平凡な暮らしをしているが、改めて避難行動など家族で話し合うことが大切だとおもいました。
- ・ひなたぼっこカフェの雰囲気がとても良かった。ポンポ好さん素晴らしいチームワークで今後も大活躍してください。